

『季節の宅配便』

近大発連携技術、情熱の炎が灯る

昨年12月22日、湯浅農場において近大マンゴー「愛紅(あいこう)」栽培用大型フィルムハウスの竣工式を挙行了いたしました。同ハウスは近大発・次世代エネルギーであるバイオコークスを燃料とした温風発生装置を設置し、近大発連携技術を具現化したものです。



完成した新ハウス(左上)。右側建屋内に、バイオコークス燃焼装置を設置。大学関係者やハウス施工業者様が一堂に会し、顕国神社(和歌山県湯浅町)の宮司様により、**竣工式**がとり行われました。竣工式後、来賓の方々による近大マンゴー「愛紅」苗木を植樹して頂きました。

バイオコークスを用いた新型燃焼炉に火が灯り、**環境に優しいマンゴー栽培の研究が、今、ここに始まりました。**